



2023年3月期 決算説明会
(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年6月6日
株式会社シモジマ

2023年3月期 通 期 概況 下半期 トピックス



1. 2023年3月期 通期概況
2. 2023年3月期 下半期 トピックス

1. 2023年3月期 通期 概況

（日本経済全体の状況）

- ・行動規制の緩和によって経済活動回復傾向
- ・地政学的リスク増大、原料・エネルギー価格の高止まり：先行き不透明

（当社グループが属する業界の状況）

- ・2022年4月にプラスチック資源循環促進法施行されて以降＝脱プラスチックの流れが加速
- ・インターネット通販市場の拡大
- ・催事、イベント関連需要の回復

（当社の活動）

- ・長期ビジョンの実現に向けて、中期経営計画に沿った活動
- ・サステナビリティ委員会設置



2. 2023年3月期 下半期 トピックス

① プロバスケットボール B1リーグ ファイティングイーグルス名古屋 冠試合開催

ファイティングイーグルス名古屋（スポンサー契約中）の
1月7日の公式主催試合を冠試合として開催

当社中京地区直営店でお買い上げいただいたお客様に抽選で、
フリースロー対決を開催するなど大いに盛り上がりました。



② スーパーマーケット・トレードショー2023出展

2月15～17日

スーパーマーケット・トレードショー2023出展！！

『温室効果ガス削減』をテーマとした6つの提案・紹介

- ① 森林保全活動（more trees様への寄付）
- ② クローズド・リサイクルモデルの提案
- ③ マテリアル・リサイクル商品の紹介
- ④ フードロス削減の鮮度保持包材の提案
- ⑤ 脱プラスチック容器の提案
- ⑥ 海洋汚染対策 海洋生分解性レジ袋「エネルフィッシュ」の紹介



2023年3月期 通期 決算報告



1. 決算概要
2. 売上高 《販売チャネル別》 前期比増減金額
3. 売上高 《商品セグメント別》 前期比増減金額
4. 売上高・営業利益推移 （売上高：500億円の壁突破 営業利益：回復）
5. 財務状況
6. 設備投資 2023年3月期通期実績 及び 2024年3月期通期計画
7. 配当の状況

【連結】

単位：百万円

科 目	2022年3月期・通期		2023年3月期・通期		
	金 額	前 期 比	金 額	増 減 額	前 期 比
売 上 高	48,063	+2.0%	55,028	6,964	+14.5%
売 上 総 利 益	14,971	▲0.6%	17,543	2,571	+17.2%
販 管 費	14,927	+1.0%	15,531	604	+4.1%
営 業 利 益	44	▲83.8%	2,011	1,966	+4,413.5%
経 常 利 益	380	▲31.1%	2,388	2,008	+527.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	87	-	1,542	1,455	+1,666.1%

2. 売上高 《販売チャネル別》 前期比増減金額

【連結】

単位：百万円

○営業販売部門 387億8百万円

前期比：+43億86百万円 +12.8%

中期経営計画進捗率：80.5%

○店舗販売部門 113億15百万円

前期比：+4億81百万円 +4.4%

中期経営計画進捗率：95.1%

○通信販売（EC）部門 50億5百万円

前期比：+20億99百万円 +72.2%

中期経営計画進捗率：100.0%



<売上増加要因>

営業・店舗販売部門

- ・既製品の主力商品の拡販
- ・環境配慮型商品の拡販
- ・特注品受注活動の活性化
- ・店舗外商活動に注力
- ・催事、イベントの復活

通販販売（EC）部門

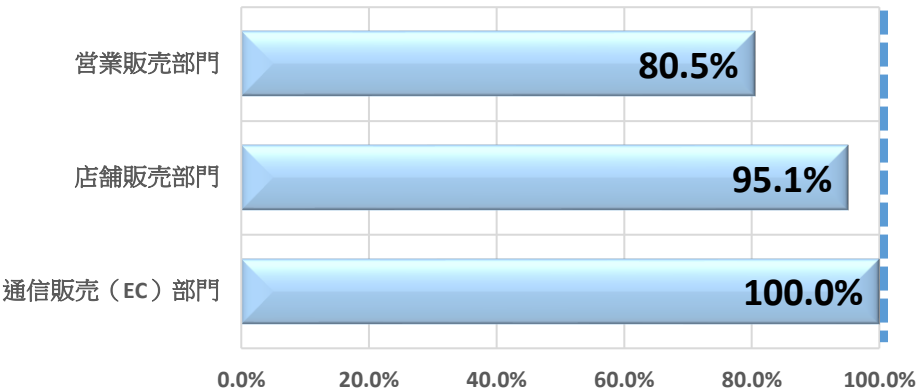
通販サイト（シモジマオンラインショップ）

- ・登録会員数増加
- ・登録商品数増加

販売チャネル別 売上前期比増減



販売チャネル別・中期経営計画目標比率



3. 売上高 《商品セグメント別》 前期比増減金額

【連結】

単位：百万円

○紙製品事業 99億98百万円

前期比：+9億68百万円 +10.7%

中期経営計画進捗率：83.3%

○化成品・包装資材事業 318億36百万円

前期比：+48億88百万円 +18.1%

中期経営計画進捗率：86.0%

○店舗用品事業 131億93百万円

前期比：+11億8百万円 +9.2%

中期経営計画進捗率：82.5%

<売上増加要因>

紙製品事業

- ・テイクアウト・フードデリバリー、通販資材好調
- ・店舗資材としての紙袋、紙器が好調

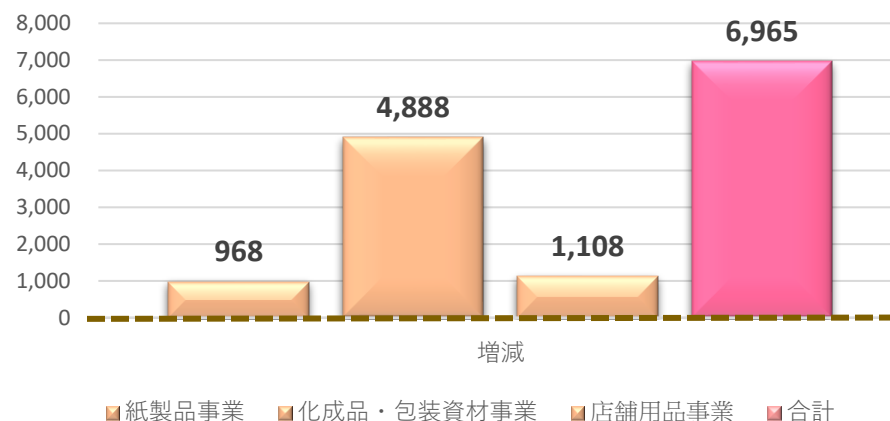
化成品・包装資材事業

- ・小売業、飲食業の需要回復
- ・環境配慮型商品の伸びが堅調
- ・個包装向け化成品の販売好調

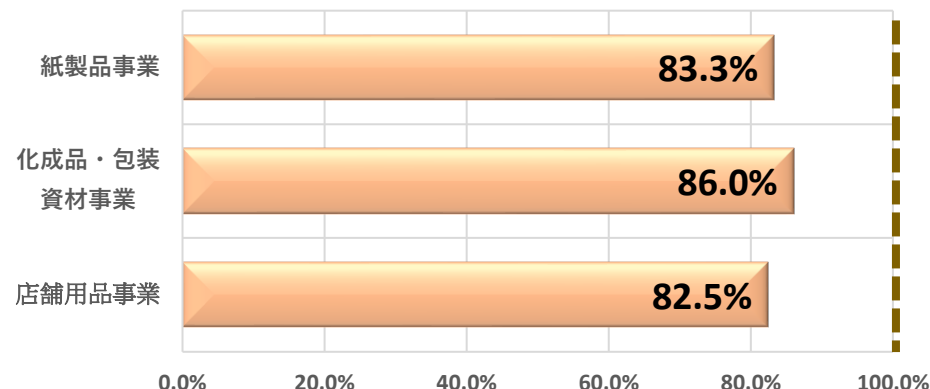
店舗用品事業

- ・催事・イベント関連資材、飲食店向け資材堅調
- ・株式会社グローバルブランドがグループ入り

商品セグメント別売上前期比増減



商品セグメント・中期経営計画目標比率



4. 売上高・営業利益推移（売上高:500億円の壁突破 営業利益:回復）



業績推移 【連結】

(単位：百万円)

売上高

※2009年3月期より連結対象

営業利益



5. 財務状況 (1)

■ 損益計算書

【連結】

単位：百万円

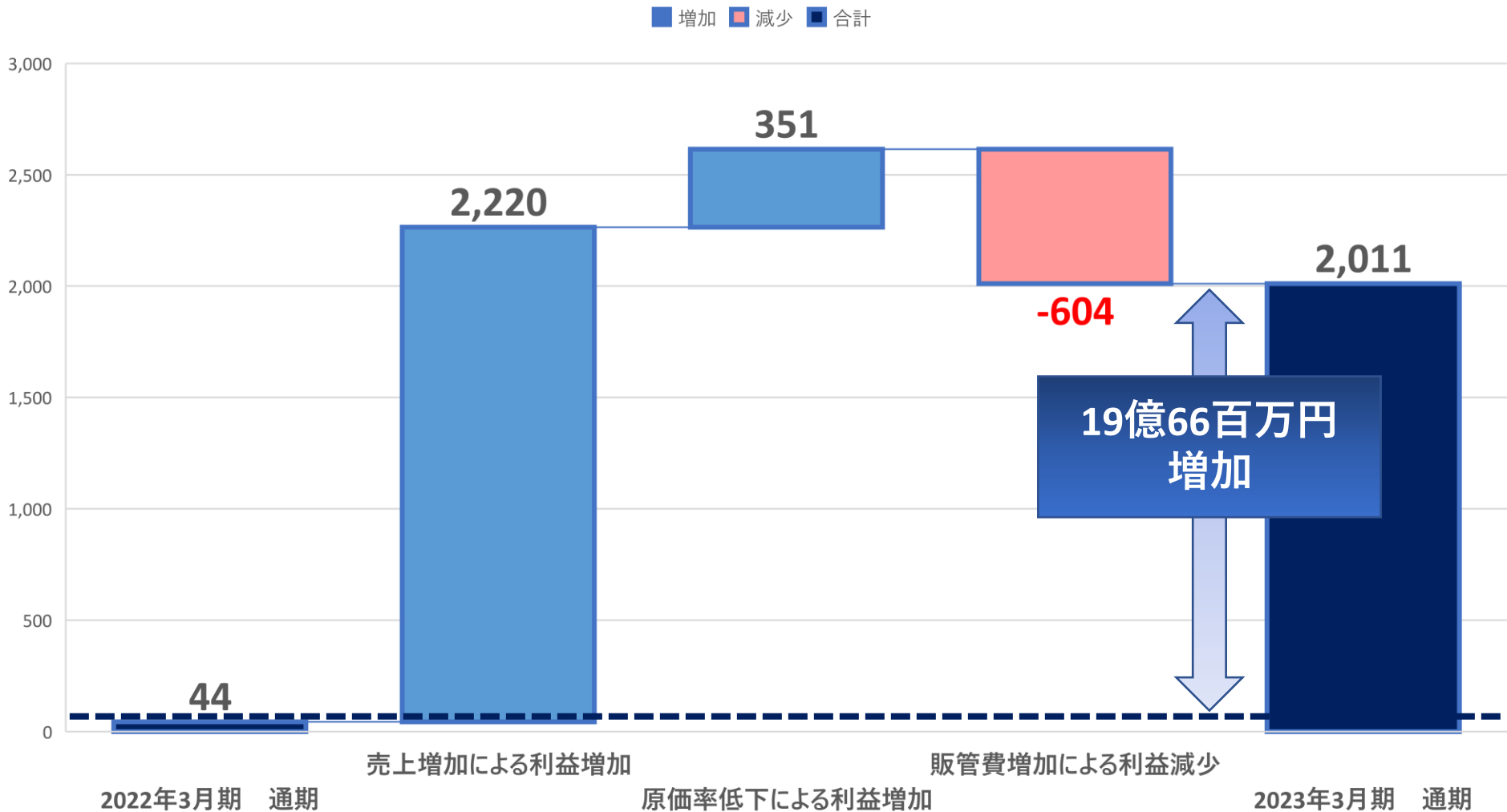
勘定科目	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期	増減額
売上高	48,063	55,028	6,964
売上原価	33,091	37,485	4,393
売上総利益	14,971	17,543	2,571
物流費	4,503	4,480	▲22
人件費	6,321	6,665	343
管理費	4,102	4,385	283
販管費合計	14,927	15,531	604
営業利益	44	2,011	1,966
営業外損益	335	377	41
経常利益	380	2,388	2,008
特別利益	7	171	163
特別損失	128	113	▲15
親会社株主に帰属する当期純利益	87	1,542	1,455

保険解約益

5. 財務状況 (2)

■ 営業利益の増減要因 【連結】

単位：百万円



5. 財務状況 (3)

■貸借対照表 ① 抜粋 【連結】

< 資産の部 >

単位：百万円

勘定科目	2022年 3月末	2023年 3月末	増減額
現金及び預金	6,035	7,140	1,105
受取手形及び売掛金	7,101	7,991	889
棚卸資産	5,514	5,871	356
建物・造作設備・機械設備 等	4,816	5,778	962
土地	7,762	7,761	▲1
無形固定資産	1,892	1,619	▲273
保険積立金	2,251	1,636	▲615
資産合計	37,817	40,023	2,205

西部配送センター建替工事

保険の解約

5. 財務状況 (4)

■貸借対照表 ② 抜粋

【連結】

< 負債の部 >

単位：百万円

勘定科目	2022年3月末	2023年3月末	増減額
支払手形及び買掛金	2,915	3,010	94
未払金	924	874	▲50
退職給付に係る負債	315	352	37
長期リース債務	345	227	▲117
土地再評価に係る繰延税金負債	277	277	—
負債合計	6,193	7,343	1,150

< 純資産の部 >

勘定科目	2022年3月末	2023年3月末	増減額
資本金	1,405	1,405	—
利益剰余金	35,803	36,834	1,030
その他有価証券評価差額金	310	320	10
土地再評価差額金	▲6,195	▲6,195	—
純資産合計	31,623	32,679	1,055
負債純資産合計	37,817	40,023	2,205

期間純利益 1,542百万円
配当金 ▲512百万円

自己資本比率 81.5%
(前年同期比 ▲2.0pt)

5. 財務状況 (5)

■ キャッシュ・フロー計算書 (抜粋)

【連結】

単位：百万円

勘定科目	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期
税金等調整前当期純利益	259	2,446
減価償却費	845	913
減損損失	19	70
売上債権の増減額(▲は増加)	▲395	▲889
棚卸資産の増減額(▲は増加)	▲124	▲356
仕入債務の増減額(▲は減少)	152	94
法人税等の支払額	▲106	▲174
営業活動によるキャッシュ・フロー	430	2,328
固定資産の取得による支出	▲1,027	▲1,640
保険積立金の解約による収入	212	993
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,376	▲378
配当金の支払い額	▲511	▲511
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲647	▲686
現金及び現金同等物の期首残高	7,441	5,848
現金及び現金同等物の期末残高	5,848	7,111

6. 設備投資 2023年3月期通期実績 及び 2024年3月期通期計画

単位：百万円

投 資 項 目	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期計画
物 流 投 資	1,310	134
I T 投 資	245	1,291
店 舗 投 資 そ の 他	156	303
合 計	1,711	1,728

2024年3月期通期 主な設備投資計画

< 物流投資 >

- ・西部配送センター建替工事
- ・センター補修、オーバーホール
- ・センター空調設備増強

< I T 投資 >

- ・D X 関連
- ・基幹システム改修
- ・在庫管理システム増強

< 店舗投資その他 >

- ・直営店P O Sレジ入替
- ・エレベーターリニューアル
- ・照明のL E D化

7. 配当の状況

	1 株 当 た り 配 当 金		
	中 間	期 末	年 間
2022年3月期	11円	11円	22円
2023年3月期	11円	※ 11円	22円
2024年3月期 (予想)	11円	11円	22円

※：第62期株主総会議案（2023年6月27日予定）

2024年3月期 通期業績予想 今後の見通し



1. 2024年3月期 通期業績予想
2. 2024年3月期 今後の見通し（業界動向）

【連結】

単位：百万円

科 目	2023年3月期 実 績	2024年3月期 予想		
	金 額	金 額	増 減 額	前 期 比
売 上 高	55,028	57,600	+2,572	+4.7%
営 業 利 益	2,011	2,100	+89	+4.4%
経 常 利 益	2,388	2,400	+12	+0.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,542	1,600	+58	+3.7%

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、当該予想数値と異なる場合があります。

シモジマグループは包装資材を扱う専門商社

プラス要因

- ・新型コロナウイルス：感染症法第2類から第5類へ移行

▶ 正常な経済活動

マイナス要因

- ・世界情勢の不確実性

▶ 商品調達コストの上昇

その他

- ・サステナブルな世界の実現に向けた社会からの要請

▶ 気候変動・人的資本投資への対応強化



シモジマグループの成長と発展に向けて 中期経営計画に対する活動状況



1. 2024年3月期 チャネル別活動計画

- (1) 営業販売部門
- (2) 店舗販売部門
- (3) 通信販売（E C）部門 シモジマ型オムニチャネル「100万×100万プロジェクト」

2. 温室効果ガス削減

「森林保全活動」（more trees様との取り組み）

3. サステナビリティ

- (1) サステナビリティ委員会設置・サステナビリティ経営・マテリアリティ（重要課題）
- (2) ステークホルダーとのコミュニケーション

1. 2024年3月期 チャネル別活動計画

(1) 営業販売部門 (2) 店舗販売部門

(1) 営業販売部門

重点業界営業の活動計画

- ①花材, 食材, 農材, 製菓製パン, アパレル, 通信販売, 介護, 工場工業 各業界深耕開拓
②新商品開発 ③勉強会の実施と工場見学 ④新規重点業界開拓

ルート別営業の活動計画

- | | | |
|--------------|-----------|------------|
| ①パッケージプラザルート | ・ 新規出店 | ・ 店舗リニューアル |
| ②ディーラールート | ・ 勉強会 | ・ ユーザー同行 |
| ③ユーザールート | ・ 特注品販売強化 | |

(2) 店舗販売部門

- ①店舗外商活動強化
②出退店計画促進
③来店客数増加施策促進

(3) 通信販売 (EC) 部門



 2026年3月期・登録商品数目標
「100万SKU」

 2026年3月期・登録会員数目標
「100万人」

登録商品数 (SKU) ・ 2023年3月期達成率

登録会員数 (人) ・ 2023年3月期達成率

2023年 3 月31日 現在	2023年 3 月期 目標登録商品数	達成率
16.4万SKU	15万SKU	109.3%

2023年 3 月31日 現在	2023年 3 月期 目標登録会員数	達成率
62.2万人	62万人	100.3%

※ S K U = ストック・キーピング・ユニットの略称
在庫管理における最小の品目数を数えるための単位

※ C R M = カスタマー・リレーションシップ・マネジメントの略称
顧客との関係性・コミュニケーションを管理しながら、その関係を長期的に深めて行くマネジメント手法

2. 温室効果ガス削減

「森林保全活動」（more trees様との取り組み）

moreTrees

一般社団法人more trees

- ・ 一般社団法人more trees様：森林保全団体
- ・ 初代代表：故-坂本龍一氏
- ・ キーワード：「都市と森をつなぐ」

「森と人がずっとともに生きる社会」を目指したさまざまな取り組みを行っています。

< more trees様の主な活動内容 >

- ・ 「more treesの森」の展開
（地域との協業で森林保全を行う）
- ・ 国産材を活用した商品やサービスの企画・開発
- ・ セミナーやイベントを通じた森の情報や魅力の発信
など

< 当社の今後の活動予定 >

- ・ 植林活動への参加

Green
SHIMOJIMA



**有料の紙袋、レジ袋を
お買い上げのお客さまへ**

**ちょっと安心
Eco Project**

森林保全

モア・トゥリーズ
『more trees』を通して森林保全活動を支援
利益の一部を寄付し、「森づくり」を支援し、SDGsを推進します。

SDGsに貢献
CO2の吸収・固定など
さまざまな機能を実現
moreTrees.
森林保全活動に
つながります！

BUY
利益の一部を寄付

シモジマグループ FOR moreTrees®

一般社団法人 more trees（モア・トゥリーズ）は、商業家・坂本龍一氏が代表を務める森林保全団体です。地球との協働で森林保全を行う「more treesの森」の展開、国産材を活用した商品やサービスの企画・開発、セミナーやイベントを通じた森の情報や魅力の発信など、「都市と森をつなぐ」をキーワードに「森と人がずっとともに生きる社会」を目指したさまざまな取り組みを行っています。私たちシモジマも、紙製品を扱う企業として、more treesへの寄付を通じ、森林保全活動を支援し、SDGsを推進していきます。



店頭ポスター

2022年11月 サステナビリティ委員会設置

委員長：代表取締役社長

委員：全執行役員

目的：E S G経営の取組み強化

役割：サステナビリティに関する基本方針
の設定やマテリアリティの特定、
目標設定と進捗管理など

(2022年11月～2023年3月までに11回開催)

シモジマのマテリアリティ (重要課題)

環境への貢献 シモジマが考える気候変動対策

- ① カーボンニュートラルの取組み強化
- ② 循環型社会の実現

人的資本投資 シモジマらしい自由闊達な社風の醸成

- ③ 従業員エンゲージメントの向上
- ④ ダイバーシティの取組み

責任ある企業として シモジマの三意精神に基づくガバナンス体制の整備

- ⑤ ステークホルダーとの対話・迅速な情報開示
- ⑥ サプライチェーンマネジメントの最適化

シモジマのサステナビリティ経営の考え方

包装用品の専門商社の立場から、サステナビリティに取り組めます。

私たちシモジマの経営理念は、サステナビリティの考え方に通じています。

それぞれの理念を基にサステナビリティ経営を推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

❖ 経営理念とサステナビリティ経営

一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する

▶ 地球や自然環境に配慮した商品の開発と普及に努めます

一、常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める

▶ お客様のご商売やお仕事にお役立ちできるような活動に注力します

一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る

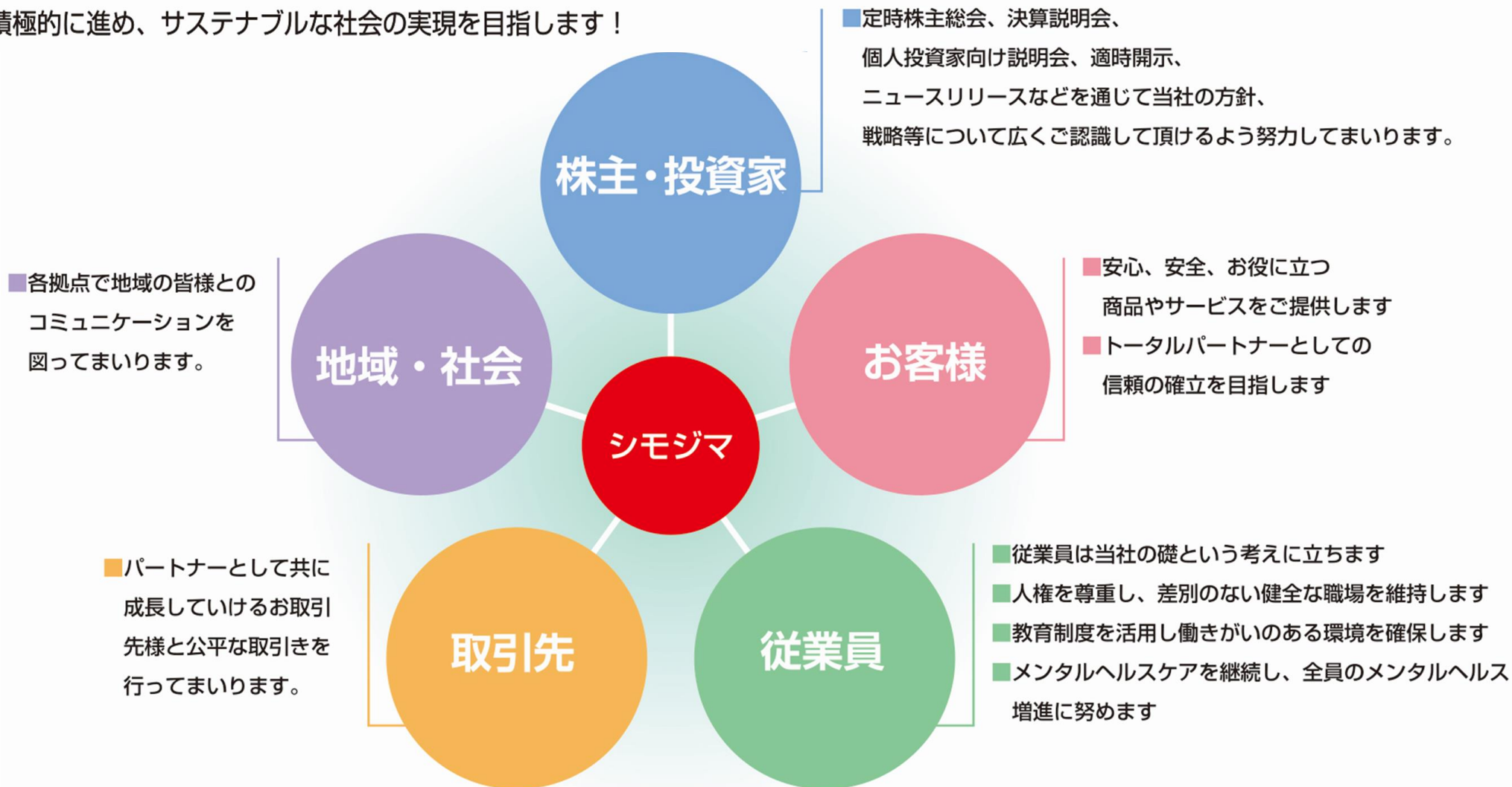
▶ 企業価値の向上を目指し事業の発展に尽力します

一、社員の楽しく健康的な生活を確保する

▶ 従業員がイキイキとやりがいをもって働ける社内環境整備を推進します

3.-(2) サステナビリティ ステークホルダーとのコミュニケーション

当社グループは、多様なステークホルダーとのコミュニケーションを積極的に進め、サステナブルな社会の実現を目指します！



株式会社シモジマ 会社紹介



1. 会社概要
2. 沿革
3. 受け継がれる シモジマの精神

1. 会社概要

会社名	株式会社シモジマ	SHIMOJIMA Co., Ltd.
創業	大正9年	
設立	昭和37年4月26日	
資本金	1,405百万円	
本社	東京都台東区浅草橋五丁目29番8号	
代表者	代表取締役社長 笠井義彦 代表取締役専務 下島雅幸	
従業員数	連結 1,190名 (2023年3月現在) 単独 842名 (2023年3月現在)	
事業内容	卸売販売 ◇紙製品事業 紙袋・包装紙・紙器 ◇化成品・包装資材事業 ポリ袋・粘着テープ・食品包材・紐リボン・その他包装資材 ◇店舗用品事業 POP用品・文具事務用品・店舗雑貨・アパレル関連資材 ・園芸関連資材	
売上高	550億28百万円	(2023年3月期/連結)
営業利益	20億11百万円	(2023年3月期/連結)



シモジマ本社ビル



シモジマ浅草橋本店

2. 沿革

年月	沿革
1920年1月	包装材料卸問屋下島商店創業
1943年8月	(株)下島商店発足
1943年9月	下島荷具工業(株)に商号変更
1964年7月	(株)シモジマを設立
1967年7月	(有) 彩光社に資本参加
1972年3月	浦和市（現さいたま市）に東部配送センター設置
1977年12月	東大阪市に西部配送センター設置
1989年9月	栃木県安蘇郡田沼町（現佐野市）に田沼倉庫設置。物流子会社ヘイコーハンドリング(株)（現シモジマ加工紙(株)）を設立
1995年12月	日本証券業協会に株式を店頭登録 資本金14億507万円
1996年9月	当社最大店舗の浅草橋5号館（現浅草橋本店）を新築オープン
2000年11月	本社においてISO14001認証取得
2001年2月	東京証券取引所市場第二部上場

年月	沿革
2001年9月	名古屋市中区に同地区最大規模の名古屋店をオープン
2003年10月	東京浅草橋に浅草橋6号館（現east side tokyo）をオープン
2004年9月	東京証券取引所市場第一部に指定替え
2006年3月	子会社、下島（上海）商貿有限公司を設立
2010年4月	(株)リード商事を子会社化
2014年4月	執行役員制度導入
2014年8月	大阪南港物流センター開設
2017年8月	子会社、(株)エスパックを設立
2017年9月	(株)我満商店をグループ化
2019年10月	ミタチパッケージ(株)を子会社化
2019年12月	朝日樹脂工業(株)を子会社化
2021年11月	(株)グローバルブランドを子会社化
2022年4月	東京証券取引所の市場区分見直しによりプライム市場へ移行

3. 受け継がれる シモジマの精神

初期の平光マーク



現在のHEIKOマーク

HEIKO

「平光マーク」に込められた思い
 「良心的でないものは作らない・売らない」というのが創業時からの当社の信念。当社が扱う商品であることを示すマーク。
 「平」＝なだらかに行き渡らせる
 「光」＝仏の御心の輝き
 正しく、誠の精神に則った商品を世界中に行き渡らせたい。そうした願いが込められている。

現在

Green SHIMOJIMA

環境配慮型商品の拡大

平成時代
(変革期)



再生紙手提げ袋

大正・昭和時代
(発展～拡大期)



昭和の時代の
手提げ紙袋

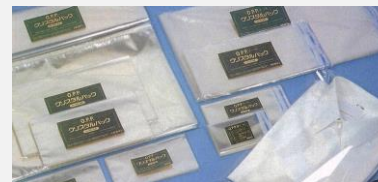
創業1920年
(黎明期)



下島商店時代の
カタログ



平紐



クリスタルパック



木製カトラリー
とクラフトBOX



宅配用資材

※既に製造販売を中止している商品も御座います。

ご清聴ありがとうございました。



お忙しいところ、弊社決算説明会に
お集まり頂き、誠にありがとうございました。

本資料につきましては、情報提供を目的としたものであり、株式売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載されております計画や見通し、戦略等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び不確実な要因の仮定を前提とし、当社が独自に判断した予想であるため、実際の業績等は、今後の経済情勢、原料価格、為替レートなど様々な要因により、これらの計画とは変動する場合がございます。

従いまして、本資料の掲載内容について情報の誤りが生じた場合においては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承いただきます様、お願い申し上げます。